

教育長の営利企業等の従事について

営利企業等への従事について、次のとおり許可を求める。

熊本市教育長 遠藤 洋路

1 内 容

- ①連載「次世代リーダーに読んでほしい名著 20」の執筆（全20回の連載のうち、4回執筆を行うもの）
- ②「ウィズコロナ期における教育のあるべき姿・座談会」オピニオンリーダー就任

2 期 間

- ①令和2年（2020年）9月24日から令和3年（2021年）2月22日まで
- ②令和2年（2020年）10月1日から令和2年（2020年）12月31日まで

3 理 由

- ①月刊誌「日本教育」において、次世代を担う現在のミドルリーダー層が目を通しておくべき名著を紹介する5人の執筆者のうちの1人として、日本教育新聞社から執筆の依頼を受けたため。
- ②ウィズコロナ期における教育のあるべき姿として、教育現場の環境整備と教員のスキル向上や、ウィズコロナ時代のICT活用教育等を議論する座談会（全3回）のオピニオンリーダーの就任について、日経BPより依頼を受けたため。

4 報酬等

- ①1回当たり6,000円（源泉徴収後の実振込額）  
※日本教育新聞社の基準による
- ②50,000円（税別・実振込額）

## 5 依頼文

別紙のとおり

(提出理由)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第11条第7項の規定に基づき、教育長の営利企業等の従事について、教育委員会の許可を受ける必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

遠藤洋路 様

## 連載「次世代リーダーに読んでほしい名著 20」執筆のお願い

拝啓 新涼の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

過日はお忙しい中、日本教育会の月刊誌「日本教育」の巻頭インタビューの取材にご協力いただき、ありがとうございました。

今回は別件でお願いがあります。幣紙では10月から新連載「次世代リーダーに読んでほしい名著 20」を掲載します。次世代を担うミドルリーダー層にぜひ読んでほしい書籍を紹介いただくもので、教育書に限らず、一般のビジネス書なども扱っていきたいと考えております。遠藤様の「教育長ブログ」を拝見し、ぜひご寄稿いただきたいと考え、連絡致しました。

下記に執筆要項をまとめましたのでご多忙かと存じますがご確認いただき、ご協力頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。 敬具

### 記

タイトル (仮) : 「次世代リーダーに読んでほしい名著 20」

内容 : 次世代を担う現在のミドルリーダー層が目を通しておくべき名著をさまざまな立場の人から紹介してもらい、執筆者は5人程度で、お一人当たり4冊程度(1回当たり1冊)ご紹介いただく。

締切日 : 1回目 10月 5日(月) 2回目 11月 9日(月)  
3回目 12月14日(月) 4回目 1月25日(月)

文字数 : 10文字×100行(1000字程度)

幣紙書評欄との違い:

書評欄では扱われることの少ないビジネス書や学校経営、人材育成に関わる名著などを丁寧に扱う。

選定範囲 : 初版発行からおおよそ30年(最大50年程度)以内の書籍で簡単に入手でき、多くのミドルリーダー層が読みこなせるもの

掲載期間 : 令和2年10月5日付から令和3年2月22日付(全20回)

\* 原稿は電子メールでお送りください。表現や表記については修正させて頂くことがあります。修正内容などはすべて事前にお送りし、ご確認とご承諾を頂いてから掲載致します。

\* 原稿には規定の稿料をお振り込み致します。

以上

熊本県熊本市教育委員会 教育長

遠藤洋路様

教育と ICT Online 主催「ウィズコロナ期における教育のあるべき姿・座談会」

オピニオンリーダーご就任のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社及び弊社発行各媒体に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、弊社が日本マイクロソフト様特別協力のもと開催させていただく座談会「ウィズコロナ期における教育のあるべき姿」へのオピニオンリーダーにご就任いただきたくご連絡させていただきました。同座談会は完全招待制・オンラインで開催させていただきます。座長に就任いただく東京大学教授の鈴木寛様と、副座長を務める弊社・中野淳（「教育と ICT Online」発行人）が会全体を運営させていただきます。座談会は3回で、各回8名程度で議論する予定です。

オピニオンリーダーの皆様には、各回のテーマを事前に共有させていただき、そのテーマに関してのご意見をお寄せいただきたく存じます（計3回）。お戻しいただいたご意見を基に、座談会の議論を進めさせていただこうと考えています。また、座談会が終了後、内容に関してのご感想・ご意見を別途お寄せいただきたく存じます（計3回）。内容については弊社サイト「教育と ICT Online」でご紹介させていただきます。

下記にも概要を記載しております。ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、ご検討いただけますようお願い申し上げます。

謹白

#### <座談会概要>

- ・名称：ウィズコロナ期における教育のあるべき姿
- ・活動期間(予定)：2020年10月～2020年12月
- ・回数：座談会は合計3回予定、毎月1回程度のイメージ
- ・主催：教育と ICT Online（日経 BP）
- ・特別協力：日本マイクロソフト
- ・テーマ：

1回目・教育現場の環境整備と教員のスキル向上

2回目・ウィズコロナ時代の ICT 活用教育

3回目・デジタル教材と EdTech の活用

- ・謝礼：50,000円（税別、手取り）

※日経 BP からメールなどで座談会のテーマをご連絡いたします。そのテーマに関してのご意見を既定のフォームに記載いただきます。会合などへのご参加は不要です。以上